

岩手・宮城内陸地震等
被害調査特別委員会

持てる医療機能に基づいた役割分担と連携体制づくりを進める必要があるなどの説明がなされ、委員からは活発な質疑が出され理解を深めました。

また、3月23日に委員会を開き、議会閉会中に県立江刺病院院長を講師に招き、地域医療現場に関する勉強会を開催することを決定し、この他にも必要が生じた場合、適宜調査活動等を実施することとしました。

岩手・宮城内陸地震等被害調査特別委員会は、議会閉会中の2月16日及び今定例会中の3月23日に委員会を開催しました。

2月16日の委員会には、市長、副市長及び関係する部長の出席を求め、災害義援金の活用による第3次被災者支援の状況について調査しました。被災者支援は2事業で地震により被災した自家水道等を復旧する市民・団体に対し、施工額の3分の1に相当する額を支援（支援額の上限は20万円）。被災宅地復旧支援事業、宅地危険度判定で「大」「中」の判定を受けた方で、復旧工事の支援額はこれまでの40万円から50万円に引き上げるものです。

3月23日開催の委員会では、執



避難地区の災害関連緊急治山工事（衣川区土土地内）

行当局から市長、副市長及び担当部長等の出席を求め、復旧の状況について調査しました。石淵ダムの法面工事等の復旧工事はすべて発注済みで5月頃完了予定です。国道397号については尿前川東側まで5月連休後に開通を見込んでいます。学校等市教育委員会所管施設は工事が完了しており、農地、林道等災害は8割以上完了しています。また道路や河川94か所のうち63か所は3月末までに完成し、残る31か所については4月初旬に発注する見込みです。このことについて、今後継続して調査することとしました。

● 請願・陳情の審査内容 ●

受理番号	件名	審査内容	審査結果	所管常任委員会
陳情第63号	WTO農業交渉に関する陳情	WTO農業交渉については、昨年12月に農林水産大臣等に対して市長と議長の連名で要望書を提出しており、その後農業交渉の協議が再開されることなく、現在に至っているという観点から、願意を了として採択	採 択	産業経済
陳情第64号	陳情（WTO農業交渉に関する要請）	同 上	採 択	産業経済
請願第61号	市道「農林高校線」の拡幅並びに自転車・歩行者道の整備についての請願	新岩谷堂高等学校の開校に伴い、周辺道路の通行量の増加が予想されることから、生徒や地区住民等の通行の安全確保のため、十分な幅員の道路整備は必要であるとの観点から、次の意見を付して採択。「主となる通行が高校の関係者であることに鑑み、高校を所管する県に対し整備費の相応の負担を求めるなど、当局は早急な対応を図られたい」	採 択	建設環境
請願第62号	市道「根岸・栄町線」の一部区間の拡幅並びに自転車・歩行者道の整備についての請願	新岩谷堂高等学校の開校に伴い、周辺道路の通行量の増加が予想されることから、生徒や地区住民等の通行の安全確保のため、十分な幅員の道路整備は必要であるとの観点から、願意を了として採択	採 択	建設環境
請願第63号	通学路の歩道整備についての請願	当該道路沿線に上野原小学校及び前沢高等学校が立地しており、児童、生徒及び地区住民等の通行の安全確保のため必要な道路整備であるとの観点から、願意を了として採択	採 択	建設環境
請願第64号	「水沢南インターチェンジ（仮称）設置調査連絡協議会」の設置についての請願	奥州市にとって新たなインターチェンジの設置は必要であり、調査・検討すべきという観点から、願意を了として採択	採 択	総 務
請願第65号	家族従業者の人権保障のため所得税法第56条の廃止を求める請願	さらに調査が必要であることから継続審査	継続審査	総 務
請願第66号	保険業法の制度と運用を見直し、自主的な共済の保険業法の適用除外を求める請願	さらに調査が必要であることから継続審査	継続審査	総 務